

授業コード : 22760

授業科目名 : 知能情報システム実験Ⅱ

受講者数 : 46名

担当教員名 : 家名田 敏昭

回答者数 : 45名

学 部 :	医療福祉 <input type="text" value="0"/>	総合政策 <input type="text" value="0"/>	科学技術 <input type="text" value="44"/>	無回答 <input type="text" value="1"/>	
学 科 専 攻 :	理学療法 <input type="text" value="0"/>	作業療法 <input type="text" value="0"/>	言語聴覚 <input type="text" value="0"/>	視覚機能 <input type="text" value="0"/>	看 護 <input type="text" value="0"/>
	保健福祉 <input type="text" value="0"/>	生活福祉 <input type="text" value="0"/>	精神保健 <input type="text" value="0"/>	総合政策 <input type="text" value="0"/>	知能情報 <input type="text" value="43"/>
	人間環境 <input type="text" value="0"/>	無回答 <input type="text" value="2"/>			
学 年 :	1年 <input type="text" value="0"/>	2年 <input type="text" value="39"/>	3年 <input type="text" value="6"/>	4年 <input type="text" value="0"/>	無回答 <input type="text" value="0"/>

設 問 文	5	4	3	2	1	科目平均	大学平均
A:授業への取り組みについて	そうである	まあそうである	どちらともいえない	あまりそうとはいえない	そうとはいえない		
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	44	0	0	0	1	4.91	4.26
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	25	13	7	0	0	4.40	3.53
問3. 授業を受講する前に授業概要を確認しましたか	12	15	15	1	2	3.76	3.48
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	25	12	6	2	0	4.33	3.30
B:学習環境について							
問5. 教室の設備環境(広さ、明るさ、外部からの雑音、実習器具など)は適切でしたか	15	16	13	1	0	4.00	4.12
問6. 受講学生数は(講義受講者数、演習・実習時の教員数など)適切でしたか	15	13	13	4	0	3.87	4.06
C:授業内容・方法・成果について							
問7. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	13	21	11	0	0	4.04	4.06
問8. 授業内容は理解しやすかったですか	3	9	17	8	8	2.80	3.86
問9. 授業中に質問しやすい環境でしたか	11	20	14	0	0	3.93	3.66
問10. 教員が指定した教科書や参考書、教材や資料が適切で工夫がみられましたか	7	19	14	5	0	3.62	3.88
問11. 黒板の書き方、ビデオやスライドの使用は適切でしたか	7	12	22	2	2	3.44	3.87
問12. 授業中に声が十分に行き渡っていましたか	19	17	9	0	0	4.22	4.17
問13. 教員は授業中の静寂を保つために適切な配慮をしていましたか	13	17	13	2	0	3.91	3.99
問14. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	1	15	19	8	2	3.11	3.91
問15. 授業概要または授業始めに提示された到達目標は達成されましたか	7	19	19	0	0	3.73	3.89
問16. 授業内容は興味深く、知的な好奇心を触発されましたか	4	14	15	7	5	3.11	3.91
D:授業の全般的印象							
問17. 教員の熱意を感じましたか	16	16	11	1	1	4.00	4.15
問18. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	5	20	17	2	1	3.58	4.00
問19. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	3	18	17	4	3	3.31	3.99

学生へのメッセージ

まず、ほぼ全員の履修者から自由記載コメントが寄せられたことにお礼を申し上げます。
 以下、科目代表者ならびに各担当教員からのコメントを記す(一部重複する内容もあるがご許し願いたい)。
 全体を見ると、「A. 授業への取り組み」は高いが、他については低くなっている。予習や復習や質問がきちんと行われていることは評価したいが、これは、以下で述べる講義の難易度にも密接に関係している問題であり、総合的に考え、授業内容の改善に活用できる素材とした。
 項目別に見ると、「内容が難しかった」、「スピードが速い」、「分量が多い」、「実験指針が長すぎる」等の意見が多くあった。これらについては、手厳しい言い方となるが、学生諸氏が実験の本質を理解できていなかったり、指針を丸写しするようなレポート作成方法に陥っている現状が表面化していると推測できる。一方、「自分の甘さが見つかった」、「仲間と楽しく実験ができた」等のアラスのコメントもあることから、学生の多様性も現れており、単に難易度を下げただけではなく、内容改善を試み、より多くの学生が興味を持って参加できる講義(実験)としていきたい。
 レポートのボールペン書きは辛い、レポートが難しい等、レポートに対するコメントが多く、実験内容(テーマ)やレポートの記載事項等についても改善すべき点があると考える。また、「説明が不十分」、「内容がわかりにくい」とのコメントもあり、次年度以降は配布資料等を工夫したい。
 講義内容を理解するには、教員やTA(ティーチングアシスタント)の説明が重要であるが、特に教員の説明方法、さらには講義運営方法に関して改善を求める意見もあり、これらについては真摯に受け止め、よりよい講義内容を実現するようにしたい。さらに、「実験内容は事前に講義で学べるべきである」との意見があった。授業概要によれば実施している内容であるが、何らかの事情により講述していない場合もあり、他の講義科目との連携をさらに密接にしていく必要があると考えられる。
 成績評価についてはレポートのみならず受講態度も評価したが、「実験への取り組み姿勢が成績に反映されるように」とのコメントも見受けられた。真面目に取り組む学生に不公平さを感じさせてしまわぬよう、科目担当者一同、これまで以上に公平かつ適切な成績評価を行うように心掛けていくとともに、実施方法・評価方法をさらに検討したい。
 アンケートで直接的に回答はなかったが、講義中における学生からの意見・反応を限り、実験の進行の効率化、および実験環境の改善が必要であると考えている。具体的には、実験をスムーズかつ効果的に進めるように、適切な班構成・人数配分、実験機器/席の配置・スペースの確保、さらに実験指針以外の追加資料の整備について検討していきたい。
 今後、カリキュラム改正時において「実験の開講時期」、「選択・必修の別」、「実験テーマ内容」について学科として検討を行う予定である。

